

第15期議会改革調査特別委員会は 「目くらしの空理・空論の議論」をしている?!

町田市議会議員の政務活動費は、各会派ごと、議員一人につき、月額6万円、年間72万円が渡されています。平成26年度、町田市市議会議員の会派への活動費として、市民の税金から2,569万8千円が渡されています。

この政務活動費について、2013年度、町田市監査委員の監査が入り、「2013年度の13の会派のうち、会計帳簿があったのは1会派、不備ではあるものの存在していたのが1会派、後の11会派は帳簿がない」という町田市議会のずさんな現状が公表されました。(＊ニュース裏面をお読みください)

この監査委員の指摘を受け、議員自ら設置した『第15期議会改革調査特別委員会』は、全13回開催されました。

ところが、監査委員が指摘した「会計帳簿を備えなければならない」との指摘についての議論は、13回中殆どありませんでした。2015年11月20日の第12回の委員会でやっと議論するものと固唾を飲んで待っていたところ、各会派の委員の「会計帳簿は会派ごとにきちんと付けているので、今のままでよい」との発言で、この議論は冒頭の数分であっさり終了してしまいました。無いものが有る?まさにキツネにつままれたような結末でした。これが監査委員の指摘を受け、議員自ら設置した『第15期議会改革調査特別委員会』の現状です。

さて、町田市監査委員には議会の代表として2名の議員が委員になっています。監査委員としては「会計帳簿がないのはおかしい」と指摘しながら、会派の議員に戻ると、「会計帳簿はきちんとつけているので問題なし」の会派議員としての発言は、全く理解できません。これでは、議会から監査委員を出す意味もありません。

町田市政を考える会・草の根が2015年10月1日付けで情報公開請求をした「2013年度、2014年度の各会派ごとの政務活動費の収支報告書と添付書類」にも、各会派の政務活動費の会計帳簿は公開されていません。不存在でした。

